

環境共生のまちづくりを考える

〜福岡アイランドシティを事例として〜



「環境共生」のあり方が模索される今日、豊かな自然に囲まれたここ福岡の博多湾には、世界的に貴重な野鳥クロツラヘラサギが越冬地として飛来する。現在、博多湾に浮かぶ人工島福岡アイランドシティには野鳥公園の建設も予定されており、同時にアイランドシティの土地利用のあり方として、福岡の活力ある産業活動やまちづくりの方向性が模索されている。この度、米国カリフォルニア大学バークレイ校のメンバーを中心とした環境保護団体 SAVE International と福岡大学景観まちづくり研究室による環境共生に関わる共同研究として、福岡アイランドシティを対象としたまちづくりと野鳥公園のデザイン考案がなされた。本シンポジウムはその成果報告と有識者によるパネルディスカッションを行い、今後の持続可能な環境共生のまちづくりについて考えてみたい。

designed by kawashima

国際シンポジウム・プログラム

■第Ⅰ部 共同研究ワークショップ

「カリフォルニア大学バークレイ校 SAVE International・福岡大学によるアイランドシティのまちづくり・野鳥公園のデザイン提案」

■第Ⅱ部 パネルディスカッション

「環境共生のまちづくりを考える」

■パネラー

ランドルフ・T・ヘスター

(カリフォルニア大学バークレイ校 環境デザイン学部 名誉教授)

マーシャ・マクナリー

(カリフォルニア大学バークレイ校 環境デザイン学部 特任教授)

出口 敦

(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授)

柴田 久(進行)

(福岡大学 工学部社会デザイン工学科 准教授)

福岡大学 A 棟 AB01 教室

2011/11/15 tue. 18:30 ~ 21:00

申込不要・先着順・開場 18:00 参加費無料 逐次通訳有

主催：福岡大学工学部社会デザイン工学科
景観まちづくり研究室

後援：風景デザイン研究会

問い合わせ：福岡大学景観まちづくり研究室

担当：高田彩乃

〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1

TEL：092-871-6631(内線 6484)

Email：td114012@cis.fukuoka-u.ac.jp



環境共生のまちづくりを考える — 福岡アイランドシティを事例として —

■パネリスト



ランドルフ・T・ヘスター (Randolph T. Hester)

ヘスター氏は、カリフォルニア大学バークレイ校ランドスケープ・アーキテクチャ&環境計画学科の名誉教授であり、センター・フォー・エコロジカル・デモクラシーの共同創立者、コミュニティ・ディベロップメント・バイ・デザイン事務所の主宰である。景観・都市づくりにおける市民の直接参加を実現。ランドスケープ・アーキテクチャにおいて数々の賞を受賞。複合的な公共空間デザインで国際的に高い評価を得ている。氏は台南県の漁村に計画された石油化学工場建設に対し、台湾大学と SAVE International の共同で代替経済活性化プランを策定し、地元の人々の生計のみならず、絶滅危惧種クロツラヘラサギの生息地を守ることに成功している。



マーシャ・マクナリー (Marcia McNally)

マクナリー氏は、センター・フォー・エコロジカル・デモクラシーの共同創立者であり、カリフォルニア大学バークレイ校ランドスケープ・アーキテクチャ&環境計画学科の特任教授兼コミュニティ・ディベロップメント・バイ・デザイン事務所のパートナーである。SAVE International の共同設立者であり、太平洋を越えて協働するための体制づくりを行っている。策定したロサンゼルス川流域における都市の野生生物保護区プランは 2007 年 EDRA (米国環境デザイン学会) プレイス・デザイン賞を受賞。また Democratic Design in the Pacific Rim Network の設立メンバーであり、国際河川ネットワークの共同代表理事も務めている。



出口 敦 (Atsushi Deguchi)

東京大学大学院新領域創成科学研究科教授。専門は都市設計学。アーバンデザイン、都市計画、景観計画の分野を基礎に、サステナブルな都市づくりの観点から、コンパクトシティのデザインとエリアマネジメントに関する研究を進め、国際的視野からは、これまでのアジアの高密度都市のフィールド調査の蓄積に基づき、アジア都市の魅力と可能性を「Asian Urbanism」として提唱。2011 年 10 月設立の国際ハビタット工学会の初代会長。同学会発行の国際情報誌 Journal of Asian Urbanism、及び国際学術誌 Journal of Habitat Engineering and Design の編集長を務める。現在、福岡「アイランドシティ・未来フォーラム」(第三者委員会)の委員長を務めている。



柴田 久 (Hisashi Shibata) 《進行》

福岡大学工学部社会デザイン工学科准教授。専門は景観デザイン、まちづくり、環境計画。著書に『環境と都市のデザイン—表層を超える試み・参加と景観の交点から—』、『土木と景観—風景のためのデザインとマネジメント』(学芸出版社)(共著)がある。2009 年、カリフォルニア大学バークレイ校環境デザイン学部客員研究員を務め、これまで数々のまちづくりやデザイン・プロジェクトに携わる。福岡県では宗像市大島海洋体験施設「うみんぐ大島」(2011 年度グッドデザイン賞受賞)、大分県津久見市の「湧水めだか公園」(2010 年度キッズデザイン賞受賞)などがある。現在、南米コロンビア・マニサレス市のオリバレス公園の設計に携わるなど、精力的な活動を続けている。

■開催日時

2011 年 11 月 15 日(火)18:30~21:00(開場 18:00)
定員 200 名・申込不要・先着順・参加費無料・逐次通訳

■プログラム

第 1 部 (18:30 ~ 19:30) 共同研究ワークショップ

「カリフォルニア大学バークレイ校 (SAVE International) ・福岡大学によるアイランドシティのまちづくり・野鳥公園のデザイン提案」

第 2 部 (19:45 ~ 20:50) パネルディスカッション

「環境共生のまちづくりを考える」



■会場 / お問い合わせ



福岡大学 A 棟 AB01 教室

【お問い合わせ】

福岡大学工学部景観まちづくり研究室
担当：高田彩乃

〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1

T E L : 092-871-6631 (内線 6484)

F A X : 092-865-6031 (共通)

td114012@cis.fukuoka-u.ac.jp

主 催：福岡大学工学部社会デザイン
工学科 景観まちづくり研究室

後 援：風景デザイン研究会